

令和3年度第2回 国土交通省東京航空局 総合評価委員会
審議概要

開催日及び場所	令和3年11月8日(木) 九段第2合同庁舎 10階共用会議室
委員	委員長 廣渡 鉄 (弁護士) 委員 高田 和幸 (東京電機大学 教授) 委員 鎌田 裕美 (一橋大学大学院 准教授)
内容	・ 1号議案審議 ・ 2号議案審議
各委員からの意見・質問	別紙【議事要旨】のとおり
委員会による具申内容	委員から指摘等のあった事項については、今後検討をしながら手続きを進めること。

【議事要旨】各委員からの意見・質問

議事3. 1号議案審議

(1)「建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用に係る実施方針」の改正について

(意見) 業務評定点の対象期間及び発注機関の拡大については、対象者が増加するため良い取り組みである。

議事4. 2号議案審議

(1) 実施状況の評価【市場化テスト終了プロセス案件】

○土木施設維持修繕工事【三沢、羽田（制限区域）】

(意見) 緊急補修の実績が年間で約300件程度行われているが、当該案件とは別に、メンテナンスをどれだけ効率的に出来るかということのを他の案件で進めているのか。

(回答) 当該案件とは別に、定期的に点検、調査を行い計画的に各年度に行う計画立案をして補修工事を行っている。当該案件の緊急補修は、突発的に壊れたもので、次の日には復旧しないとイケない応急復旧的なものである。

○電気設備保全業務【成田】

(意見) 障害時の緊急時が発生していない状況でどのように評価したのか。

(回答) 実際の場合がないので机上にはなるが、緊急時の体制表等が構築されているので机上での訓練を想定し、判断せざるを得ないかと考えている。

(意見) 障害時の緊急時が発生していない状況では、信頼性の確保に記載されている0件という達成状況は、少し意味合いが違うので、記載ぶりを検討すること。

(回答) 承知した。信頼性の確保は取れているが、達成状況という表現からするとご指摘のとおりなので検討することとしたい。

(2) 実施状況の評価【市場化テスト】

○空港消防等業務【羽田、新潟】

(意見) 市場化テストは民間の創意工夫を発揮することが目的の1つであるため、人件費の最低賃金の上昇と比較すると実質的に経費が削減されたという記載を行っているが、創意工夫により経費が削減出来ているということを重点に、記載ぶりを検討すること。

(意見) 評価の記載において、結論しか記載していないため詳細な理由を記載すること。

(回答) 承知した。

○東京国際空港警備業務

○空港有害鳥類防除業務【羽田、新潟】

(意見) 評価の記載において、結論しか記載していないため詳細な理由を記載すること。

(回答) 承知した。

(3) 評価基準の設定、技術提案の評価【プロポーザル】

○東京国際空港消防車庫（1）新築その他設計業務

（意見）空港の特殊性などの理由により、実績を要求することは新規参入の障壁となるので条件とする必要があるのか。ガイドラインにあるため、外すことは出来ないことは理解するが、配点を少なくするなどしないと事実上新規参入を閉め出すことになる。問題提起ではないが、機会があれば検討していただきたい。

（回答）ご意見は理解した。

(4) 技術提案の評価【政府調達対象／技術提案評価型（S型）】

○東京国際空港東西地下連絡通路内装解体工事

（意見）加算点の評価方法の決め方はいかがか。

（回答）ガイドラインに則り、合議で決定している。

(6) 評価基準の設定、技術提案の評価【政府調達対象／技術提案評価型（S型）】

○性能評価センター空気調和設備工事

特段意見なし

以 上